

The Creed of Junior Chamber International

We Believe :

- That faith in God gives meaning and purpose to human life;
- That the brotherhood of man transcends the sovereignty of nations ;
- That economic justice can best be won by free men through free enterprise;
- That government should be of laws rather than of men;
- That earth's great treasure lies in human personality ; and
- That service to humanity is the best work of life.

我々はかく信じる

信仰は人生に意義と目的を与え人類の同胞愛は国家の主権を超越し

正しい経済の発展は自由経済社会を通じて最もよく達成され

政治は人によって左右されず法によって運営されるべきものであり

人間の個性はこの世の至宝であり人類への奉仕が人生最善の仕事である

JCI MISSION

To provide development opportunities that empower young people to create positive change
 青年が積極的な変革を創造し開拓するために、能動的に活動できる機会を提供する。

JCI VISION

To be the leading global network of young active citizens.
 青年の行動的市民活動を支援する国際的なネットワークをもつ先導的機関となる。

JC宣言

日本の青年会議所は
 希望をもたらす変革の起点として
 輝く個性が調和する未来を描き
 社会の課題を解決することで
 持続可能な地域を創ることを誓う

本気!まちづくり宣言

私たち一般社団法人大東青年会議所会員は、社会のオピニオンリーダーたらんとする自覚を持ち、明るい未来への橋渡しとしての役割を担うために常に学び、変革を繰り返し、本気でまちづくりに取り組むことを宣言いたします。

私たち大東JCメンバーは、

- 一、本質を捉え、絆の力を信じ、おおい溢れる地域へ導くことのできる、志高いJCを実現します。
- 一、共感と調和をもって、公益性高い社会運動を実行し、豊かな個性が輝けるやさしいまちの創造を目指します。
- 一、自己を高め、多様を受け入れる寛容さを持ち、地域を牽引する魅力溢れるひとづくりを目指し、「明るい豊かな社会」の実現に取り組めます。

綱領

われわれJAYCEEは
 社会的・国家的・国際的な責任を自覚し
 志を同じうする者 相集い 力を合わせ
 青年としての
 英知と勇氣と情熱をもって
 明るい豊かな社会を築き上げよう

大東市民憲章

大東市は飯盛・生駒を東にのぞむ美しい風土と人情のもとに、魅力ある近代都市へと発展するまちです。
 わたくしたちはこのまちに住む市民であることを誇りとし、
 わたくしたちの手で、ほんとうに住みよいまち大東市を建設するためにこの憲章を定めます。

わたくしたち大東市民は

- 1. 自然を愛し、環境をととのえ、心をあわせて美しいまちをつくりましょう。
- 1. たがいに尊敬し、はげましあい、心をあわせて明るいまちをつくりましょう。
- 1. ことばをただし礼儀をまもり、心をあわせて秩序あるまちをつくりましょう。
- 1. 健康で働くことによるこびをもち、心をあわせて豊かなまちをつくりましょう。
- 1. 伝統をたつとび未来をそだて心をあわせて文化のまちをつくりましょう。

理事長挨拶

想像力で切り拓け

～想いあう「ひと」 優しい「まち」の創造～

【はじめに】

1956年(昭和31年)4月1日、南郷村・住道町・四条町が合併し大東市は大阪府下22番目の市として発足しました。当時の人口は3万人をこえ、高度経済成長期によって住宅、工場、事業所の進出が著しく増大し、急速な人口増加と都市化が進行しました。そして、大東市が10万人都市として成長し続ける1972年に、「若さ」と「英知」と「情熱」をもって地域社会に貢献したいという思いのもと、大東を愛する高い志を持った若き青年が集い、大東青年会議所は日本で476番目の青年会議所として歩み始めました。そして、その歩みは大東市に明るい豊かな社会を実現するという揺るがぬ信念と共に脈々と受け継がれ、本年(2021年)創立50周年を迎えることができました。これもひとえに、これまでの歴史において私たちの活動に深い理解と、温かいご支援ご協力をいただきました、地域の皆様をはじめ、行政、民間各諸団体の皆様、そして志を同じくする各地会員会議所メンバーの厚い友情の賜物であり、心より感謝申し上げます。

【Re:Start-up】

50年。半世紀とも表現することができる時間を大東青年会議所は常に変わらぬ信念と共にその歴史を紡いできた。その歩みの過程における社会情勢は目まぐるしく変化し、近年では急速なテクノロジーの進化によって、様々な利便性が向上すると共に、人のコミュニケーションの形に多様性を生み出した。そして、環境面においては地球温暖化に伴う気候変動や異常気象、さらには2019年12月新型コロナウイルス感染症(COVID-19)が中国湖北省武漢市の原因不明の肺炎の集団発生から始まり、世界的な大流行が発生するなど、予測が困難な事象が次々と起こっている。この背景から現代は「変化が激しく、先行きも見通せず、複雑で、曖昧である」という意味である、Volatility(変動性)・Uncertainty(不確実性)・Complexity(複雑性)・Ambiguity(曖昧性)の頭文字をとり、VUCA時代とも表現されている。しかし、私たち青年会議所の意義は何ひとつ変化していない。地域における課題を抽出し、課題解決へ向けて率先して行動を起こし、未来を切り拓く青年経済人としての責任と自覚をもって、地域において明るい豊かな社会を実現することだ。将来の予測が困難であり、誰もが不安を抱える状況だからこそ、オピニオンリーダーたらんとし、英知と勇氣と情熱をもって行動する志を私たちは50年間、承継し続けている。そして、この答えのない時代を切り拓く力こそが大切であり、その原動力たりえるものが過去の成功の延長線に囚われない想像力である。未来を描く想像力がなければ、社会課題に向き合う当事者意識など生まれるわけがない。人を想う想像力がなければ、多様化する社会において誰もが輝く人の共生など実現できない。そして、複雑な時代を生きる子どもたちを想う想像力がなければ、子どもたちが笑顔で過ごすことのできる未来など実現できない。決して変わらぬ志と、未来を切り拓く想像力をもって、大東青年会議所はこの50年という新たな起点より再起動していく。

【想像力で切り拓け】

時代が変わろうとも変わらないこと、未来は人が切り拓くということだ。AI、IoT、ロボット技術の進歩によって人に求められるものが変化していくのかもしれない。しかし、人にしかできないことは必ず存在し、それこそが青年会議所で磨かれる力であると考え。「奉仕・修練・友情」の3信条のもと、地域や未来を想い行動を起こす。その過程における学びは、やはり人を想う力であり、多様性を認めあう友情へと昇華する。社会の最小単位は人であるからこそ、想う力が共感を生み出し、人のもつ可能性を高めることのできる唯一無二のJAYCEEを生み出す。誰かがやるのを待つのではない、変わっていく事を期待するのではない。未来を切り拓く価値あるJAYCEEとしての気概と勇氣をもち、絆の力を信じ、行動を起こしていこう。

想像力で切り拓け ～想いあう「ひと」優しい「まち」の創造～



第50代理事長 大東 洋式